

事業所名

ツインズリハビリ児童発達支援事業所

支援プログラム

作成日

R6

年

12

月

16 日

| | | | | |
|-----------|--|---|---|--|
| 法人（事業所）理念 | お子様一人ひとりの可能性を広げ、将来心が楽で豊かに過ごせる「生きやすい」世界をつくる。お子様・ご家族様が心から安心できる居場所を提供します。 | | | |
| 支援方針 | 多職種（児童発達管理責任者・児童指導員・保育士・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士等）がチームを組んで、一人ひとりのお子様に合わせた療育の提供 お子様が抱えておられるお困りごとの背景に寄り添い、深掘り、根拠のある療育を提供いたします。 | | | |
| 営業時間 | 9 時 00 分から 18 時 00 分まで | 営業日：月・火・水・金・土（祝日営業） 休業日：木・日 | | |
| | 療育提供時間 ① 14 時 00 分から 15 時 35 分まで | 療育提供時間 ② 16 時 00 分から 17 時 35 分まで | | |
| 送迎実施の有無 | あり なし ※ 自転車：専用駐輪場あり ※ 車：専用駐車場なし | | | |
| 支 援 内 容 | | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | ① 生活リズムや生活動作（食事・トイレ・身支度）等身辺自立へのサポート。 ② お子様の特性へ配慮しながら、日常生活をスムーズに送ることができるよう時間や空間を分かりやすく構造化等への支援 ③ 「自分でできる」へつなげる身辺自立へのサポート | | |
| | 運動・感覚 | 理学療法士・作業療法士による感覚や運動発達への支援（粗大運動と微細運動、感覚統合、視覚機能面など） ① 運筆・食具においての具体的方法を確認し、適宜必要な補助具の提案や補助具卒業のタイミングを提案 ② 感覚統合の様々な要素を取り入れた運動プログラムを実施。お子様の得意分野・苦手分野を把握し、深掘りしながらスモールステップで自信がもてる関わりを実施。 ③ 姿勢保持や移動、感覚低反応・高反応などに対する具体的支援の提供。JSI-R検査（感覚統合検査）の実施・保護者への説明 | | |
| | 認知・行動 | セラピスト（ST・PT・OT）による認知・感覚面への支援 （認知）ワーキングメモリやビジョン機能面への深掘りの他、注意機能、言語理解、知覚、推論などの理解を促す支援（数量、形、物の大小、色、音の変化、物の違い、空間認知、時間、推測など）。認知の特性を踏まえた支援の提供。 （行動）その行動の背景を分析したうえで、構造化や絵カードを利用した支援の提供。 | | |
| | 言語 コミュニケーション | 言語聴覚士による言語・コミュニケーション支援 ① 物や動作と、言葉の意味が結びつくなどの言語理解や、表情や感情の理解 ② 言語、文字や記号・絵・ジェスチャー・サインを活用した表現手段の獲得 ③ 遊びを通じて、相手に伝える意欲や、相手の話を聞く力の獲得 ④ 語彙力検査（PVT-R検査 他）の実施・保護者への説明 | | |
| | 人間関係 社会性 | 保育士・児童指導員によるSST（ソーシャルコミュニケーション） ① 対人関係などで状況に応じた適切な振る舞いや、子どもが社会生活を営んでいくために必要なスキルを養う ② 小集団での活動を通して、他児との関わり、相手の気持ちの理解、遊びの展開をあそび（活動）を通して学ぶ。 ※テーマ（月毎にテーマを設置）：自己理解・問題解決・表情の理解・感情を知る・協力プレイ・共感的スキル・問題解決・ルールや順番を守る など | | |
| 家族支援 | 子育てに関する事柄、発達の遅れに対する情報提供・支援 療育場面を通して、お子様の特性への理解・支援方法の共有 日常生活（園・ご自宅）での困り事に対して個別相談援助 | 移行支援 | 進級、入学等ライフステージへの切り替えを見据えた移行準備 園、学校との支援方法の共有 | |
| 地域支援・地域連携 | 相談支援事業所や併用している事業所と情報共有・連携 市内連絡会参加による地域の情報共有、地域連携 | 職員の質の向上 | 各種法定研修受講、他：強度行動障害支援者養成研修・児発管研修・事業所見学・施設見学・地域の子育て講座 等） | |
| 主な行事等 | スタンプカードによる、がんばり賞プレゼント（不定期）・夏まつり（療育時間での催し）等 | | | |